

三木の森林だより

第48回通常総代会開催される

森町森林組合は第48回通常総代会を9月30日、三倉総合センターで開催しました。当森林組合総代41名が出席し、平成19年度事業報告等の提出議案が全て原案どおり承認されました。

また、森町長代理竹山正敏産業課長補佐様・中遠農林事務所長油井日出雄様・静岡県森林組合連合会長榛村純一様など多数の来賓の方々が駆け付け祝辞を述べられました。



のものと事業利益が十九万円計上、特別利益を得て、当期剰余金が六十九万円。前期繰越剰余金十九万円を併せ、当期未処分剰余金を八十八万円計上することが出来ました。

議案審議に先立ち鈴木奉久組合長は挨拶で、間伐をはじめとする適正な管理、低コスト施業には一層の研鑽を進め少しでも多く山主に材価として還元出来るよう努力し、森林組合としての至命を今一度認識し、組合員を始め地域の振興のため、多様な事業に積極的に進みたい。と述べられました。

収益は昨年度を約八百二十万円上回る一億九千二百万円あり、組合員皆様のご協力

榛村純一県森林組合連合会長が来賓祝辞で戦後六十三年の森林・林業・山の歴史や森の力再生事業実施中に森林組合の熟練・信頼度の確立、三能職員の養成等の『これからの森林・林業・山村・森林組合』について述べられました。



総代会を終えて！ 藤川常務が語る

平成19年度の通常総代会も無事に終えて、ほっとしているのが実感であります。これも組合員皆様のご協力の賜と感謝しております。組合として組合員の負純に応じるべき努力をしていかなければなりません。

それには、施業の集約化・機械化による搬出コストの削減、県民税による森の力再生事業を中心とした森林整備等、補助事業の有効活用。

又、労働力の確保は急務となり、新規技術員の養成、採用、管理費の見直し等、課題は山積しておりますが、今後とも皆様の一層のご理解ご協力をお願い申し上げます。

平成20年10月20日

代表理事常務 藤川 英 夫

本年度取組事業について

昨年度同様に組合員皆様の大切な森林を次のような事業で管理していきます。

森林整備事業

- ・森の力再生事業(約30ha) ※詳しくは下記参照
- ・しずおか林業再生プロジェクト推進事業(約20ha)
- ・流域育成林整備事業(約10ha)造林・下刈・枝打等も有り
- ・奥地保安林整備事業(約60ha)三倉地区の保安林で実施

低コスト事業

- ・森町林業再生プロジェクト(機械化による集約施業)

指導事業

- ・山村境界保全事業(地籍予備調査)
- ・広報誌『三木の森林だより』の発行(年4回)

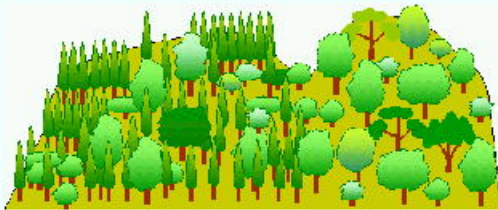
本年度の目標に向かって役職員一丸となって事業を進めて参りますのでご支援ご協力を御願ひします。

新STAFFの紹介

森町森林組合の新年度を迎えるとともに庶務・購買担当として新職員が加わりました。

『この10月より森町森林組合にお世話になる事になった、加藤美幸です。生まれは旧春野町で現在は結婚して森町三倉(大河内)に住んでいます。山仕事はあまり知らないのですが皆さんに迷惑を掛けたい事があると思いますが頑張りますので、よろしくお願いします。』

仕事内容は庶務・購買担当なので、次回からの『三木の森林だより』**購買情報**には皆様のお役に立つ商品をご紹介します。是非、お近くにお越しの際は、森町森林組合事務所にお立ち寄り下さい。』



森の力再生事業

よみがえれ！森の力

静岡県土の六五%を占める森林は水源涵養や災害防止などといった、かけがえのない「森の力」を持っています。林業の低迷等により、手入れが行き届かなくなつて放置され、荒廃した森林が増えています。このため、静岡県では「森林づくり県民税」を導入し、この税を財源として、荒廃した森林の再生する「森の力再生事業」を平成十八年度から実施しています。この事業は、森林所有者ではなくともならない、荒廃森林を、森林組合などの森林所有者の負担はあります。費用は静岡県が負担しますので、森林所有者の負担はありません。安心安全で快適な県土をつくるため、森林所有者の皆様のご協力を御願ひします。

対象森林について

困難性・林業など経済活動を通じて森林の権利者による整備が困難な私有林(道から遠距離・急傾斜・小規模等)

公益性・土砂災害の防止や水源涵養等の機能を発揮させる必要がある森林(森町森林整備計画に定める水土保全林や森と人の共生林。ただし保安林は除く)

緊急性・緊急に整備が必要な荒廃した森林(下草が消滅またはその恐れのある森林)

当森林組合も平成十八年度から積極的に実施していますので、「ご希望の方や詳しい内容・質問等がありましたら森林組合まで御連絡下さい。」



その様子は長年の経験と勘で次々に注文されたサイズに実加工されていきます。

「長いことやって来ても緊張するよ。間違えれば取り返しがつかない。だって、その木は世界に一本しかないから。」と中村社長は語る。



大工と最終打合せして実加工。9寸に挽き直し、あとは鉋をかけて8寸8分の大黒柱へと変身する。

顔の見える家造りは実現するの③
前号で製材された三木の森林産の杉檜は実加工を施します。予め反りやねじれを予想して少し大きめに挽いてあるので、使用する適寸に加工されていきます。



写真は5寸角の杉材(森町産)を刻む。機械に頼りきらず、匠の技を随所に生かす。

実加工を終えた材木はいよいよ製材所から森町の加藤建築作業場へと運ばれます。到着した材木は、大工によって一本一本を目で見て、手を触れながら熟練された匠の技で刻まれていきます。

「いくら性能の良い機械で挽いても最後には必ず鉋かけをする。木は自然素材だから」「ホソ穴を開けたり切込みを入れる作業は大工の腕の見せ所だよ。」と大工さんは語る。



協力：(有) 加藤建築
周智郡森町森2120-5
電話 0538(85)0605
HP 森町 加藤建築 で検索！



次回は『三木の森林だより冬号』でお伝えしますので、ご期待下さい。
鈴木清之

購買情報

今回紹介するのは天然ゴム手袋です。林業・農業・園芸・日曜大工・ご家庭の作業にお勧めします。

柔らかフィットで、しっかりグリップ

ゴムグリップ

- 特徴
- ・手のひら部に天然ゴムを使用し、丈夫で通気性に優れムシにくい。
 - ・新開発のスベリ止め加工で、グリップ性に優れている。
 - ・手にぴったりフィット。



M・Lサイズとも

¥198円

一般賦課金お願いについて

組合員の方々には森林組合の運営につきまして、ご支援ご協力を頂きますとして厚くお礼申し上げます。さて、二十年度の一般賦課金通知書を御送付致しますので、十一月三十日までに納入下さいます様、よろしくお願い申し上げます。

なお、面積等ご変更された場合、相続された場合、また御不明な点につきましては、ご遠慮なく連絡していただければ幸甚に存じます。

担当 富田敏子

イベント情報

毎年恒例の『もりもり2万人まつり&農協祭』が十一月二十三日(日)に森町文化会館駐車場で開催されます。

当森林組合も例年どおり林産物(山芋・しめじ)や木製品(ベンチ・プランター)等を出展予定していますので、是非お立ち寄り下さい。また、昨年度好評だった、組合職員による森町産松ベンチも予定しています。



本年度出品予定の森町産松ベンチ
※ 全商品数に限りがありますのでお早めにお買い求め下さい。

編集後記

いかがでしたか「三木の森林だより秋号」は？昔から暑さ寒さは彼岸までと言う様に、朝夕は涼しくなってきました。総代会が無事終了し新年度に向かって頑張っています。左の写真ですが皆さんは分かりますか？ナントこれは政令指定都市『浜松市』と森町の市町境なんです。平成の大合併でこの森町も隣接する様になったのです。



左側 浜松市 右側 森町
今では事務所から浜松は車で約十分。笑
K・S

県森連 天竜営業所 市況

平成20年10月15日 現在

ひのき

長さ(m)	末口径(cm)	中 値	1本当り単 価	摘 要
3.0	16~18	21,500円	1,871円	柱目4寸
	20~22	20,000円	2,640円	太角目
4.0	16~18	21,500円	2,494円	土台目4寸
	20~22	22,000円	3,872円	中目縁甲取
	24~28	22,000円	5,940円	中目
6.0	16~18	34,000円	6,596円	通し柱4寸
	20~22	28,000円	8,120円	通し柱太角

す ぎ

長さ(m)	末口径(cm)	中 値	1本当り単 価	摘 要
3.0	16~18	11,000円	957円	柱目4寸
	20~	13,800円	1,822円	中目
4.0	16~18	11,000円	1,276円	桁目4寸
	20~22	13,000円	2,288円	中目
	24~28	13,000円	3,510円	中目
6.0	16~18	14,000円	2,716円	通し柱
	20~22	14,000円	4,060円	通し柱

も り
三木の森林だより

発行/森 町 森 林 組 合
〒437-0208 静岡県周智郡森町三倉826-2
電話 0538-86-0211 ファックス 0538-86-0212
メールアドレス jigyou@forest-morimachi.or.jp